

発達障害児のための感覚運動教室のご案内

いつもごろごろ寝転んでいる。じっと座ってられない。なんだか動作がぎこちない。よく転んでしまう。はさみが上手く使えない。集中力が続かない。文字が上手く書けない。などなど発達の気になる子どももある。

触覚、平衡感覚、固有感覚は、生来的に働いているといわれ、日々の生活の中で、この3つの感覚に視覚と聴覚を加えた5つの感覚をバランスよく使いながら、さまざまな活動を行っている。その行動がまた新しい感覚刺激をうみ、それが新しい活動に繋がる。これを積み重ねていくことで、子どもはより複雑な行動や対応ができるようになってくる。

私たちの子どもたちは、そうした感覚が鈍感だったり、敏感だったりすることにより日常生活がしんどく感じるようだ。感覚運動をすることでそうしたしんどさを軽減できる。

関西国際大学教育学部教育福祉学科教授 中尾繁樹先生監修の下、スタッフによる感覚運動教室。さあ、一緒にはじめよう！

期 間 2023年 5月 ～ 2024年 4月 (月1回)
日 時 5/20(土)・6/17(土)・7/15(土) AM10:00～11:00
場 所 神戸市中央区文化センター 1階 多目的ルーム(5月・6月)
(神戸市中央区東町115番地) [神戸市中央区：所在地・アクセス \(kobe.lg.jp\)](https://kobe.lg.jp)
JR・阪急・阪神・市営地下鉄山手線三宮駅から徒歩6分神戸市役所西側

※注 場所は月によって変わることがあります。8月以降の日程は決まり次第お知らせします。

月 謝 1,000円
対 象 3才～12才の 言語で意思の疎通がある程度出来、運動能力等のデータ・
情報提供にご協力頂ける発達障害の子ども。ビデオ録画有。
定 員 10名
応募者多数の場合はこちらで選考させていただきます。悪しからずご了承下さい。

お申し込み先 npopurecosmoueda@gmail.com

件名 「感覚運動教室」で下記の必要事項をご記入頂きお申し込み下さい。
5日以内に返信致します。上記のメールを受け取れるよう設定をお願いします。

- ① 子どもの氏名
- ② 年齢
- ③ 子どもの所属(療育施設、保育園、幼稚園、小学校名など)
- ④ 保護者の氏名
- ⑤ 親の所属(親の会等に入ってる方は会の名前を書いてください)
- ⑥ 連絡先(携帯電話等緊急時に連絡がつく番号を書いてください)
- ⑦ 診断名

<コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください>

- ・ 当日、体調のすぐれない方は、ご参加をお控えください。
- ・ ご来場の際は マスクを着用し、受付にて消毒液で手指の消毒をお願いいたします。

